

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院  
第18回地域連絡協議会議事録

【日時】2023年11月17日（金）14時～15時

【場所】大会議室（中央棟6階）

【議題】Ⅰ 地域医療連携に関するデータ報告 加藤重典室長

1) 紹介率・逆紹介率・初診患者数の推移 資料1

2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等） 資料2

Ⅱ 「当院における血管外科領域の治療について」

外科 血管外科：徳永 晴策

Ⅲ 討論

Ⅳ 閉会

【出席者】（敬称略、五十音順）

青木一郎、井上真理子、大島伸一、加藤雅通、喜多村隆、近藤広見、真田昌代  
柴田真一、成田英里、根崎涼介、日比野正範、山口賢司

【欠席者】（敬称略、五十音順）

川村益生、新村満弘、野田泰永、服部真樹、村上京子、村川公一、（非公開者1名）

【当院出席者】

後藤百万、加田賢治、大野稔人、木下敦士、河嶋知子

【当院欠席者】

林英司、真弓俊彦

【オブザーバー】

独立行政法人地域医療機能推進機構東海北陸地区事務所より3名

【開会挨拶】

（後藤院長）

本日はお忙しいなか、御出席頂きありがとうございます。前回8月の地域支援委員会では酷暑のなかでの開催でしたが、あれから3か月しか経っていないのに今週は秋を飛び越したかのような冬の寒さとなっています。

コロナについては、10月はまだ5類変更後の移行期ということで当院もコロナ病床を確保していましたが、11月からは完全にコロナ確保病床は無くなり、ポストコロナ体制になっています。現在はインフルエンザ感染拡大に備えている状況ですが、それでも市内のコロナ入院患者数は100名前後で推移しており、冬に向けてコロナの再感染拡大が気になるところです。

また、御承知のように来年度からの第8次医療計画指針では5疾病6事業の6事業目として新興感染症が追加されています。その対応については、来年4月以降国の方針に沿って、中京病院も愛知県と新興感染症に対する病床確保等の協定を結んでいく予定となっており、引き続き新興感染症に対しても地域支援病院としての役割を果たしていく所存です。

ポストコロナでは、患者さんの受診動向は必ずしもコロナ過前に戻っておらず、当院でも外来患者数や入院患者数がコロナ過前には戻ってきていませんが、他方、手術件数や救急車搬送件数はコ

コロナ過前を超えて増加し、ドクターカーの出動も徐々に増えてきており、当院の重要な役割である高度急性期・急性期医療、ならびに救急医療の需要は増加しているものと思われます。

地域支援病院として、連携施設のクリニックや病院には私が直接訪問してご意見を伺っているところですが、最近改善を図った対応としては、紹介状を持っている患者さんが直接外来受診の予約が取れることを可能にしました。また、クリニックの先生から急患として当院外来受診を電話などで依頼された時に、受入れの可否や受入れ診療科の決定に時間がかかってしまい連携医の先生にご迷惑をおかけすることがあることから、診療依頼に対してまずは受け入れさせていただくことを徹底するようなシステムを早急に作っています。さらに、連携病院との日中・夜間の患者さんの受入れや、情報交換のための各病院の事情にあわせたスムーズな連絡システムの構築を行っています。今後とも、地域支援病院としてきめ細かな対応を行っていきたいと思います。

さて、毎回申し上げており恐縮ですが、2025年12月開院予定の新棟建設が進んでおり今年中には建物の基礎部分が終わり、来年からはどんどん建物が積み上がっていきますので新棟建設の実感がわいてくるものと思います。それに先立ちまして、ささやかではありますが、10月23日に新放射線治療棟の落成式を行わせていただきました。ご出席頂きました方には改めて御礼申し上げます。そして、11月6日から新放射線治療棟が稼働しています。

病院のハードの部分は新しくなりますが、外見だけよくなっても片手落ちです。中京病院は76年の歴史を有し、長年培った素晴らしい風土や文化がある反面、古くガラパゴス的な体質が残っているところもあり、業務改善による職員の働き方改革、医療安全文化の醸成、働きやすい職場環境の整備、そして何より患者さんが安心して医療を受けられるような環境整備といったソフトの部分の進化に向けて積極的に取り組んでいます。ハード・ソフト面いずれにおいても、より高い次元で地域住民、また連携施設の先生方のお役に立てるよう頑張っています。引き続きのご支援よろしくお願い申し上げます。

(山口委員長)

名古屋市医師会の本会が今日と重なってしまい各区の会長と市の担当理事も欠席していることを、お知らせいたします。

先程、院長からお話もありましたが、先月末に中京病院におかれましては、放射線治療棟が完成されました。本当におめでとうございます。今後とも高齢化社会が進み、多様化するニーズに寄り添った治療をやっていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

名古屋市医師会からですが、来年度4月から、本会において平日の夜間20時から24時まで、小児科の標榜をやめる決定がされました。平日夜間は東区葵町にある本会と、さらに3つ、東部、西部、南部が平日夜間、急病センターをやっております。南部は南区の休日診療所でやっております。執務医は南区、瑞穂区、緑区、天白区、4区からドクターが来て執務医をしていますが、本会決定で来年度4月からは小児科を標榜しません。患者は1日1、2人と非常に少ないので、基幹病院に迷惑がかかることはないと思います。以上よろしくご承知おきください。本日はよろしくお願いいたします。

(加藤副会長)

今までずっと中京病院の担当でしたが、コロナとか医師会の本会などと被ってしまい出席できなかつたり、ウェブで参加したりしておりました。久しぶりに寄せていただいたという状況です。今日来たら工事が始まっていて病院前の立体駐車場も使えなくなっていました。以前自分は、中京病院で病診連携の1医療機関として開放型病床を使わせていただいて、乳癌手術をしていたので中京の情報は逐一知っていたつもりでしたが、副会長になってからそういうことも出来なくなりました。中京病院があつという間に成長しているのを目の当たりにして本当に頼もしく思っております。

今回の医療情勢で一番の話題を皆さんにお伝えしたいと思います。来年度の診療報酬改定が我々医療従事者にとって生活源となります。診療報酬だけでなく、介護報酬、福祉関係のサービス報酬も改定となるトリプル改定ということになります。このような改定は、6年に1回ですが、医療、介護、福祉関係が一丸となってなんとかしなくてはいけないということです。というのも、今までの改定はデフレの中で行われてきたので、改定率が若干下がったり、プラスマイナス0という段階でも仕方がないということでしたが、今はインフレです。全業種も平均賃上げが3.44パーセントで他の業者は賃金が上がっています。しかし、我々の賃金が上がってないというのはその原資である診療報酬が上がってないからで、それをなんとか上げるべきだというのが、医療、介護業界の統一した意見です。しかし、最近発表された財務省財政制度等審議会などが出したペーパーによると病院はコロナ関係の補助金を沢山貰ったのでストックが増えているからそれを回せばよい。診療報酬点数などマイナスでいいと言っている。しかし、そういう時の補助金は一時的な収入であって、今後2年、3年続いていくものとは違うということを、医師会として熱心に言っています。そういった声は、我々医療業界だけでなく、全国民の声として上げていかなければいけないと思っていますので、皆様にもご留意いただきたいということをお伝え致します。

## I 地域医療連携に関するデータ報告（加藤室長）

### 1) 紹介率・逆紹介率・初診患者の推移（資料1）

#### 地域医療支援病院報告事項一覧（資料1-1）

##### ◆ 外来・入院等実績

外来患者延数は64,473人、入院患者延数は39,614人、稼働病床利用率は70.4%、平均在院日数は11.3日、在宅復帰率は98.1%となっています。

##### ◆ 紹介・逆紹介実績

初診患者は4,040人、紹介患者数2,749人（紹介率68.0%）。逆紹介患者数は4,118人（逆紹介率101.9%）となっています。

##### ◆ 救急実績

救急患者総数は4,173人でうち入院しなかった患者の数は、3,165人でその割合は75.8%でした。入院した患者は、1,008人、24.2%は入院となっています。救急搬送の患者は、1,719人で救急車以外のウォーク in とされる患者は2,454人、小児救急患者の数は566人でした。

### 2) 病診連携（受診予約・検査予約・開放型病床利用状況等）（資料2）

#### FAX・Web2022年度7～9月実績（資料2-1）開放型病床利用（資料2-2）

FAX・Web を使った予約状況ですが、一番多いのは眼科、それに引き続き消化器科、泌尿器の需要が多いです。検査においては、従来どおりCT・MRが多いです。

開放型病床の利用はありません。

## II 『当院における血管外科領域の治療について』 血管外科：徳永 晴策

### 《要旨 - スライドより抜粋》

- ・血管外科の特色について
- ・血管外科について
- ・当院における治療内容の推移について
- ・血管外科領域の手術について

### Ⅲ 討論

特になし。

### Ⅳ 閉会

#### 2024年度 地域連絡協議会開催予定

- ・次回の地域連絡協議会は5月となります。

**第18回独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院地域連絡協議会  
2023年11月17日（金）**

院外委員

NO	委員(フリガナ) (五十音順・敬称略)	職名	新任	備考	出欠
1	青木 一郎 (アキ イロウ)	南区歯科医師会長		医療関係団体	出席
2	井上 真理子 (イノウエ マリコ)	名古屋市南区保健福祉センター福祉部長		医療行政代表	出席
3	大島 伸一 (オシマ シンイチ)	国立長寿医療研究センター名誉総長		学識経験者	出席
4	加藤 雅通 (カトウ マサチ)	愛知県医師会副会長		医療関係団体	出席
5	川村 益生 (カラムラ ヨシオ)	熱田区医師会長		医療関係団体	欠席
6	喜多村 隆 (キタムラ タカシ)	明治学区連絡協議会会長		市民代表	出席
7	近藤 広見 (コトドウ ヒロミ)	名古屋市南区訪問看護 ステーション所長		医療関係団体	出席
8	真田 昌代 (マタタ マサヨ)	善常会リハビリテーション病院 事務部長		医療関係団体	出席
9	柴田 真一 (シバタ シンイチ)	緑区医師会長		医療関係団体	出席
10	新村 満弘 (シンムラ ミツヒロ)	名古屋市南消防署長		医療行政代表	欠席
11	成田 英里 (ナリタ エリ)	名古屋市南区南部いきいき支援センター センター長		医療関係団体	出席
12	根崎 涼介 (ネザキ リョウスケ)	医) 山口病院 地域医療連携室室長		医療関係団体	出席
13	野田 泰永 (ノダ ヤスナガ)	天白区医師会長		医療関係団体	欠席
14	非公開	非公開		医療関係団体	欠席
15	服部 真樹 (ハツリ マサキ)	名古屋市医師会担当理事		医療関係団体	欠席
16	日比野 正範 (ヒビノ マサノリ)	南区薬剤師会長		医療関係団体	出席
17	村上 京子 (ムラカミ キョウコ)	瑞穂区医師会長		医療関係団体	欠席
18	村川 公一 (ムラカワ コウイチ)	知多郡医師会長		医療関係団体	欠席
19	山口 賢司 (ヤマグチ ケンジ)	南区医師会長		医療関係団体	出席

12/19名

院内委員

NO	委員(フリガナ)	職名	新任	備考	出欠
1	後藤 百万 (ゴトウ モモカズ)	病院長		病院代表	出席
2	加田 賢治 (カダ ケンジ)	副院長		〃	出席
3	大野 稔人 (オノ トシヒト)	副院長		〃	出席
4	林 英司 (ハヤシ エイジ)	副院長		〃	欠席
5	真弓 俊彦 (マユミ トシヒコ)	副院長		〃	欠席
6	木下 敦士 (キノシタ アツシ)	事務部長		〃	出席
7	河嶋 知子 (カワシマ トモコ)	看護部長		〃	出席

5/7名